

平成29年度 事業計画書

一般財団法人 地球システム総合研究所

地球システム総合研究所は、昭和18年（1943年）2月18日に京都大学関連の公益財団として設立された。その後、平成16年6月7日に当時の文部科学大臣の認可を受けて名称を「財団法人地球システム総合研究所」に変更した。その定款には「地球の科学ならびに工学に係わる複合的な情報を取得・解析し、総合的に 解釈する地球システム科学・技術に関する基礎的研究を行い、もって人類繁栄の基になる資源・エネルギー開発、建設、地下水利用、防災や環境保全等への活用を図るとともに、研究成果の普及と専門技術者の育成を通して、地球の安定的有効利用と社会の持続的発展に寄与すること」を目的とすることを示している。長い伝統を有する当研究所はその目的の達成のために次の3つの事業

- (1) 地球の科学ならびに工学に係わる複合的な情報の取得と解釈、地球システム科学・技術に関する基礎的・応用的研究
- (2) 研究成果の実用化と啓蒙・普及
- (3) 資源・エネルギー開発、建設、地下水利用、防災や環境保全等に関する研究・調査を本邦及び海外において行うことを定め、これまで活動を継続し発展させてきた。

当研究所は平成27年に、内閣府の指導監督から離れて公益的活動を行う一般財団法人となり、引き続き公益事業としての「自主研究事業」と「研究会・講習会等の開催事業」を行うほか、様々な委託者からの研究課題の解決を図るための「委託研究事業」にも取り組んでいる。その研究・調査活動の成果の発表や広報、技術指導、講習会等の開催を長年にわたり積極的に実施し、多くの有益な成果を挙げ、我が国の科学技術の発展に寄与するとともに学術的にも多くの貢献を果たしてきた。

平成29年度の具体的な事業計画を以下に示す。

●研究所の運営

当研究所は一般財団法人としての運営のため、平成29年度は定例理事会を2回、定例評議員会を1回、の開催を予定している。

●「自主研究事業」及び「研究会・講習会等の開催事業」

当研究所独自の課題について研究開発を行い、その成果を公表して科学技術の発展に寄与する自主研究を積極的に行う。その研究開発と研究成果の普及と有効利用を促進するため、研究会、講演会、セミナー等を開催する。平成29年度は特別講演会を1回、講演会を3回、研究会を3回開催する予定である。また、海外における国際シンポジウムの開催を支援する。

●「委託研究事業」

学会や産業界からの要請に応じて、関連科学技術に関する課題の研究開発及び技術開発並びに学術調査及び研究技術指導についても積極的に推進する。当研究所に設置されている各部門研究会の研究・調査活動を更に活発に推進させ、各部門研究会の活動を通じて我が国の関連科学技術の発展に寄与する。

なお、当研究所の活動状況及び成果の周知及び普及のため、ホームページ (<http://www.geosystem-research.com/>) の充実を図る。

以上